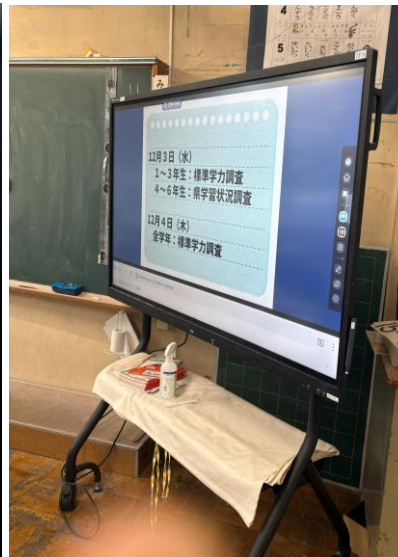


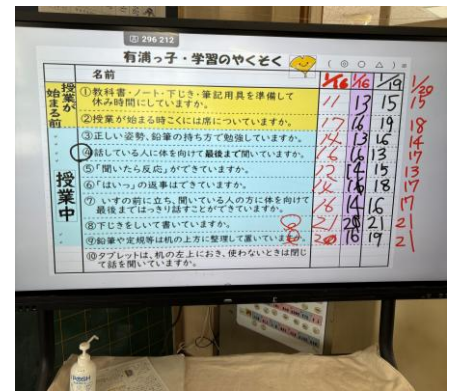
Ⅲ 基礎学力

児童の状況		自己評価A	学校関係者評価	外部評価委員のコメント
意欲的に授業に臨ませ、基本的学習習慣を身に付けさせながら学力を向上させようとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	○「学習のきまり」の確認は学習の出発点と捉える。自分だけでなく、みんなが学習をよりよく定着させる手段として意識付ける必要がある。 △「単元テスト」や「全校テスト」は、児童が学習の定着を確認できる時間である。実施ありきでなく、実施後のフォローアップも確実にお願いしたい。 △読書に対する評価は、児童と保護者の間で受け止め方が違うようだ。説明が必要ではないか。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	○県学習状況調査のほとんどの教科が県平均を上回っていることはすばらしい。今後も、普段の授業を大切にする指導を継続してほしい。 ○「向上」というキーワードを大切にほしい。学校が取り組んできた「パワーアップ」は、問題に慣れるということ、もっている実力を発揮するという意味では、とても効果的であった。 ○教師ミニミニ体験を経験した人、若い先生方が教師はやりがいのある職業であるという取組をめざしてほしい。
【前期（一年度）】 ①学習のきまりの指導は、学期初めに学年集会を開き、学習のきまり「有浦っ子の約束」について確認をしている。その後、学級で「有浦っこの約束」についての指導を具体的におこなっている。また、帰りの会で「有浦っこの約束」が守れたかどうかを振り返り、次の日の活動につなげている。強調週間が終わった後も、定着が図られるように、声かけを継続して行っている。今年度も、10分休みの過ごし方について、次の時間の準備をし、トイレや水分補給をして席に着くことをわかりやすく掲示するなどして、落ち着いて過ごせるように声かけをしている。 ノート指導については、学びの広場委員会が授業ノートの展示を行った。真似してほしいノートを、担任が選び、選ばれた本人が工夫したポイントを書き掲示していた。また、委員会の児童がよいノートの書き方アドバイスを考えてプリントを配布し、放送でも呼びかけたことで、子どもたちのノート作りへの関心も高まっていた。 ②全校テストは、5、6、9、12、2月の5回に分けて、漢字・計算テストを実施している。家庭学習の内容の充実のために計画したものだが、合格するために、テスト範囲の問題を何度も繰り返し解く児童が増え、年々、充実した内容になっている。今後も引き続き取り組んでいきたい。 ③算数の単元評価問題は、昨年度より、問題用紙を分割して1時間の授業の中で取り組んでいる。県学習状況調査レベルの内容や記述式の問題に、その学習時間内に触れることができ、学びの定着につながっている。 【後期（一学年度）】 ①学習のきまりについては、3学期はじめ各学年で「学びのオリエンテーション」を開き、学習のきまりについて、確かめたり、帰りの会で振り返りをしたことにより学習の約束を意識して過ごす姿が増えてきたように思う。また、10分休みの過ごし方も徐々に子どもたちに浸透している。低学年が時間をもてあましているところもあるので、次の時間の準備をどこまでやるのかを具体的に指導していきたい。 家庭学習ノートの指導については、普段は、自分の学年のノートを表示しているのだが、3学期後半には、一つ上の学年のノートを借りて、学級に展示する。毎年、興味津々で上の学年のノートを見て、書き方や内容を参考にし、自分たちのレベルアップにつなげている。 ②読書運動は、各学年、目標を定め、それを達成するために、お家で本を読んだり、休み時間読んだり、意欲的に取り組んだ。図書室もいつも趣向を凝らした掲示や、イベントがあり、子どもたちが楽しんで、本を借りている。 ③学習状況調査などの結果をうけて、定着が悪かったところを学年で復習する時間を設けていく。				

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
7 学習への取組 学習習慣	(10)基本的学習習慣の定着 (11)読書習慣の定着	学習のきまりの指導、ノート指導、 話型・ハンドサインの活用	3.4	3.4
		全校テストの実施と事後指導 家庭学習の推奨		
		朝読書の実施、読書運動の実施		
8 学力向上	(12)基礎学力の定着と向上	習熟の時間の確保と評価問題の工夫	3.1	3.3
		諸学力検査等の結果を活用した 学力向上への取組		



各クラスで電子黒板に、映しだされた目標を見てお話を聞く集会となった。



後期も有浦っ子学習のやくそくを示し、帰りの会でできたかどうか振り返りをした。やくそくを提示したことにより、授業の中でも気を付けて過ごそうという姿が見えた。また、学びの広場委員も呼びかけもあり、意識づけにつながっている。

学びの広場委員会による、各学年への学習での目標を伝える放送集会があった。何に向けてどんなことに気を付けて学習に取り組めばいいのかを発表



季節や行事に合わせて、掲示やイベントがあり、子どもたちが本に興味をもつきっかけとなり、本を借りたいという意欲につながっている。3学期はじめは、本を借りたらおみくじがひけるというイベントがあり、盛り上がっていた。

11月には、読書強調週では、本の森委員会児童による発表があった。本に関するクイズやイベント内容が発表され、図書室の本を借りに来る児童が多く見られた。